

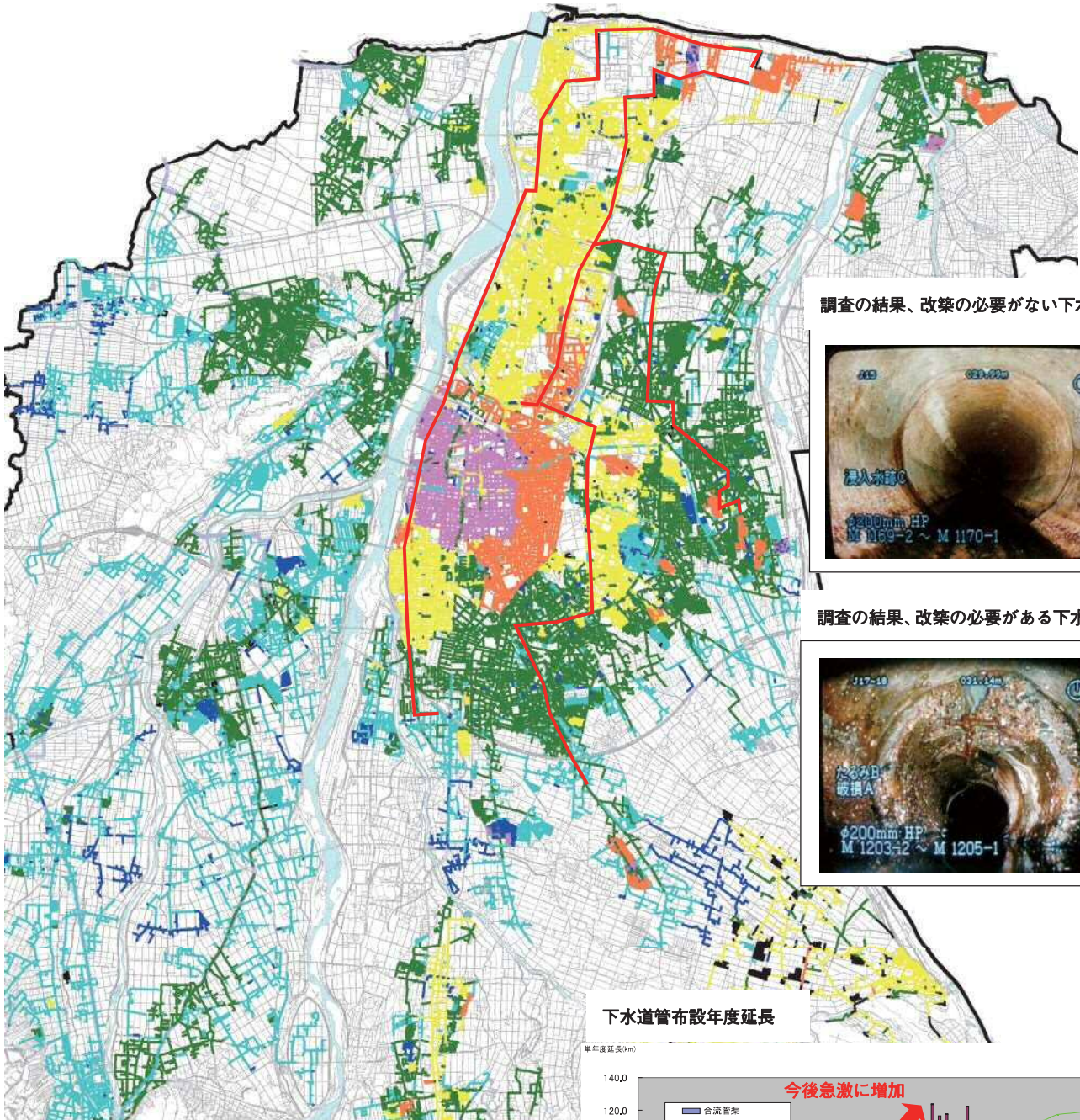
35 老朽下水道管対策事業の推進について

本市の下水道は昭和27年から整備を進めており、今後、急激に老朽下水道管が増加する傾向にあることから、老朽下水道管に起因する事故を未然に防止するために、計画的で効率的な改築を進めていく必要があります。

つきましては、今後、急激に増加する老朽下水道管の改築には多額の経費と期間を要することから、富山市下水道ストックマネジメント計画に基づいて**老朽下水道管の対策事業が計画的かつ継続的に進められるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

- | | | | |
|---|----------|-------------|---------------------|
| 1 | 事業年度 | 令和2年度～令和8年度 | |
| 2 | 総事業費 | 10,136百万円 | |
| 3 | 事業概要 | 調査 | 350km |
| | | 改築工事 | 調査の結果、劣化の著しい下水道管を改築 |
| 4 | 令和4年度事業費 | 1,448百万円 | |
| | | 調査 | 50km |
| | | 改築工事 | 調査の結果、劣化の著しい下水道管を改築 |
| | (財源内訳) | 国庫支出金 | 411百万円 |
| | | 企業債 | 874百万円 |
| | | 自主財源 | 163百万円 |

老朽下水道管対策事業位置図



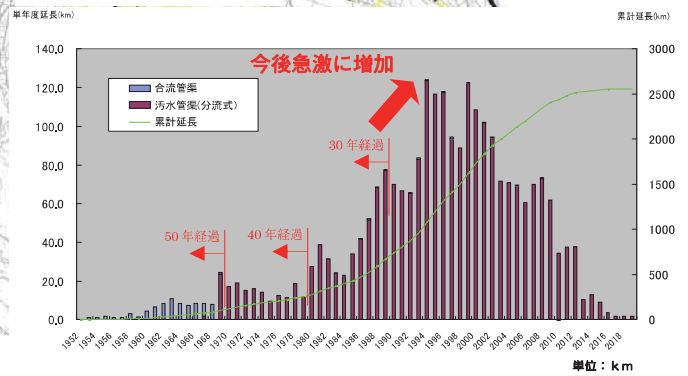
調査の結果、改築の必要がない下水道管



調査の結果、改築の必要がある下水道管



下水道管布設年度延長



凡例	
—	主な幹線
—	50年以上経過
—	40年以上50年未満経過
—	30年以上40年未満経過
—	20年以上30年未満経過
—	10年以上20年未満経過
—	10年未満経過

凡元未時点 (基準年)	～50年	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	9年～1年	合計
合流管渠	79.4	0.5	1.6	4.3	1.6	0.0	87.4
汚水管渠 (分流式)	25.8	146.0	417.5	946.0	781.7	151.9	2,468.9
富山市合計	105.2	146.5	419.1	950.3	783.3	151.9	2,556.3
累計延長	105.2	251.7	670.8	1621.1	2404.4	2556.3	-
累計割合	4.1%	9.8%	26.2%	63.4%	94.1%	100.0%	-